



●下瀬美術館（広島県大竹市）

海の上にピンク、黄、水色、さまざまな色の箱が浮かぶ不思議な景色。建築界のノーベル賞と言われるプリツカー賞を受賞した坂茂さん設計の下瀬美術館を訪れました。

水盤に映るカラフルな箱は可動式の展示室。展示室同士は廊下で繋がり美術作品を鑑賞しながら箱の中を巡ることができます。

また展示室は企画内容に応じて水の浮力により配置を変えることが可能となっています。

エントランスの外観は曲線的な鏡張り。空や緑が映り込み建物の存在を消しているよう。「アートの中でアートを観る」をコンセプトに建てられた下瀬美術館は、2024年ユネスコで創設されたベルサイユ賞「世界で最も美しい美術館」にも選ばれました。



（幹事：鈴木章子）

●続「JIS Z8120 光学用語」から

7) 測光及び測色では、放射エネルギー、比視感度、光束、光量、光度、輝度、照度、プランクの放射則、色温度、輝度率、点光源、色相、明度、彩度、加法混色、減法混色、等色、標準イルミナントなど72項目が定義されている。

b) 機器関係の、1) 機器一般（生産及びOA機器を含む。）では、モアレ、迷光、ゴースト、分散能、視野、半導体露光装置、レーザ加工機、イメージスキャナ、カラー複写機、ファクシミリ、レーザプリンタ、光メモリカード、バーコードリーダなどの58項目が定義されている。

2) 光学素子（レンズを含む）では、撮影レンズ、ズームレンズ、コンデンサ、鏡筒、絞り、光ケーブル、フレネルレンズ、フィルタ、ハーフミラー、ペンタゴナルプリズム、回折格子、シャッタ、蛍光板などの82項目が定義されている。

3) 顕微鏡及び望遠鏡では、ルーペ、顕微鏡、双眼実態顕微鏡、生物顕微鏡、蛍光顕微鏡、対物レンズ、接眼レンズ、スライドグラス、天体望遠鏡、ガリレイ式望遠鏡、ケプラー式望遠鏡、双眼鏡、単眼鏡など71項目が定義されている。

（永田泰弘）

●大辞泉ひろいよみ 79ーこ

光差：こうさ。天体から出た光が地球に達するまでの時間。

黄砂・黄沙：黄色い砂。中国北西部で、黄色の砂塵が強風に舞い上げられて空を覆い、風に運ばれながら徐々に降下する現象。

光彩：きらきらと輝く美しい光。才能やすぐれた面が際立って目立つこと。

虹彩：眼球の血管膜の前端部で、角膜の後方にある環状の膜。色素に富み、その沈着状態によって、茶色や青色の眼になる。中央の瞳孔で開閉を行って光の量を調節する。

光子：電磁波として知られる光を、量子論の立場からとらえた場合の粒子で、質量零、スピン整数の素粒子。

紅脂：こうし。紅と脂粉。

紅紫：こうし。くれないとむらさき。転じて、種々の美しい色。

格子分光器：こうしぶんこうき。回折格子を用いて光のスペクトルを得る装置。

柑子色：こうじいろ。赤みがかった黄色。だいたい色。

柑子栗毛：こうじくりげ。馬の毛色の名。ややだいたい色を帯びた栗毛。柑子赤毛。

黄雀：こうじゃく。スズメ、またはアオジのこと。

（永田泰弘）